

平成31年度

下水道事業会計当初予算の概要

# 1. 31年度当初予算のポイント

## (1) 予算規模 ※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある

単位:百万円

区分	31年度 当初予算 <sub>A</sub>	30年度 当初予算 <sub>B</sub>	前年度比 <sub>A-B</sub>	
予算規模	21,302	22,268	▲966	▲4.3%
3条予算	11,172	11,362	▲189	▲1.7%
4条予算	10,130	10,906	▲776	▲7.1%

## (2) 予算のポイント

- ・予算規模は、西部バイパス幹線工事(4条予算)や、企業債支払利息・減価償却費(3条予算)の減などに伴い、▲9.6億円 ▲4.3% (予算規模は、過去5番目)
- ・下水道使用料 43.5億円 (+1.5%)は、前年度並み
- ・一般会計繰入金 は、39.8億円 (▲3.2%)の減
- ・浸水対策事業の推進(西部バイパス幹線工事等) 9.5億円
- ・ストックマネジメント・総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の推進 20.4億円
- ・企業債残高は、前年度比▲16.8億円の896.7億円
- ・汚水処理人口普及率は、前年度比+0.5ポイントの87.4%

## 2. 業務計画

区 分		31年度	30年度	前年度比較	
				増減	前年比率%
水洗化戸数	戸	119,400	119,000	400	0.3%
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	41,127,170	40,850,500	276,670	0.7%
一日平均処理水量	m <sup>3</sup>	112,370	111,920	450	0.4%
汚水処理人口普及率	%	87.4 (64.2)	86.9 (64.0)	0.5	—

※汚水処理人口普及率は、合併浄化槽等も含む。( )は、下水道普及率

# 3. 収益的収入及び支出（3条予算）

単位:百万円

区分	31年度	30年度	前年度比較		主な増減理由
			増減	率(%)	
下水道事業収益	11,172	11,362	▲189	▲1.7	有収水量増加に伴う増 66 減価償却費の減少に伴う減 ▲40  企業債支払利息の減 ▲107
1 営業収益	7,291	7,329	▲37	▲0.5	
下水道使用料	4,355	4,289	66	1.5	
一般会計繰入金	2,690	2,783	▲93	▲3.4	
その他(MICS,再生水等)	242	251	▲10	▲3.9	
2 営業外収益	3,879	4,033	▲154	▲3.8	
一般会計繰入金	616	723	▲107	▲14.8	
長期前受金戻入	3,261	3,307	▲46	▲1.4	
下水道事業費	11,172	11,362	▲189	▲1.7	機械設備等の償却期間終了に伴い ▲45 企業債支払利息の低利率に伴い ▲113
1 営業費用	9,776	9,872	▲97	▲1.0	
管渠・ポンプ場・処理場費	2,346	2,367	▲21	▲0.9	
排水設備・業務・総係費	665	641	24	3.7	
減価償却費等	6,765	6,864	▲100	▲1.5	
2 営業外費用	1,385	1,478	▲93	▲6.3	
支払利息等	1,344	1,457	▲113	▲7.8	
<b>当年度純利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

- ・包括民間委託(処理場・ポンプ場) 9.8億円 (H31~H35 49億円)
- ・下水道事業基本計画(仮称)策定経費 628万円 (H32.3末策定予定)
- ・下水道接続・雨水利用普及啓発経費 49万円
- ・自己財源の確保 MICS収入 1.2億円 バイオマス発電収入 0.9億円
- ・職員給与費(正規職員90名、非常勤嘱託職員17名) 8.9億円 ※4条予算含む

### 3. 資本的収入及び支出（4条予算）

単位:百万円

区分	31年度	30年度	前年度比較		主な増減理由
			増減	率(%)	
資本的収入	6,574	6,865	▲290	▲4.2	平準化債(未利用分)の増 400
1 企業債	4,565	4,553	12	0.3	
2 他会計出資金(繰入金)	678	608	70	11.5	
3 国庫補助金・県補助金	1,295	1,651	▲357	▲21.6	
4 分担金及び負担金	34	49	▲14	▲29.9	
資本的支出	10,130	10,906	▲776	▲7.1	西部バイパス幹線工事の減 ▲629 元金償還金の増
1 建設改良費	3,882	4,787	▲905	▲18.9	
資産購入費	4	26	▲22	▲86.2	
施設整備事業費	3,878	4,761	▲882	▲18.5	
2 企業債償還金	6,240	6,110	130	2.1	
<b>収支差引(補てん財源)</b>	<b>3,555</b>	<b>4,041</b>	<b>▲486</b>	<b>▲12.0</b>	

・浸水対策事業

西部バイパス幹線工事 8.4億円 (H28~H31 32.2億円)

福岡ポンプ場ポンプ増設工事(除じん機設備) 0.9億円 (H30・H31 4.3億円)

・長寿命化対策・ストックマネジメント 13.6億円

・総合地震対策 6.8億円

・污水管渠整備 4.6億円 (污水管工事 L=1,318m 東部・西部污水管移設工事 L=210m)

# 4. 重点事項（具体的な取組）

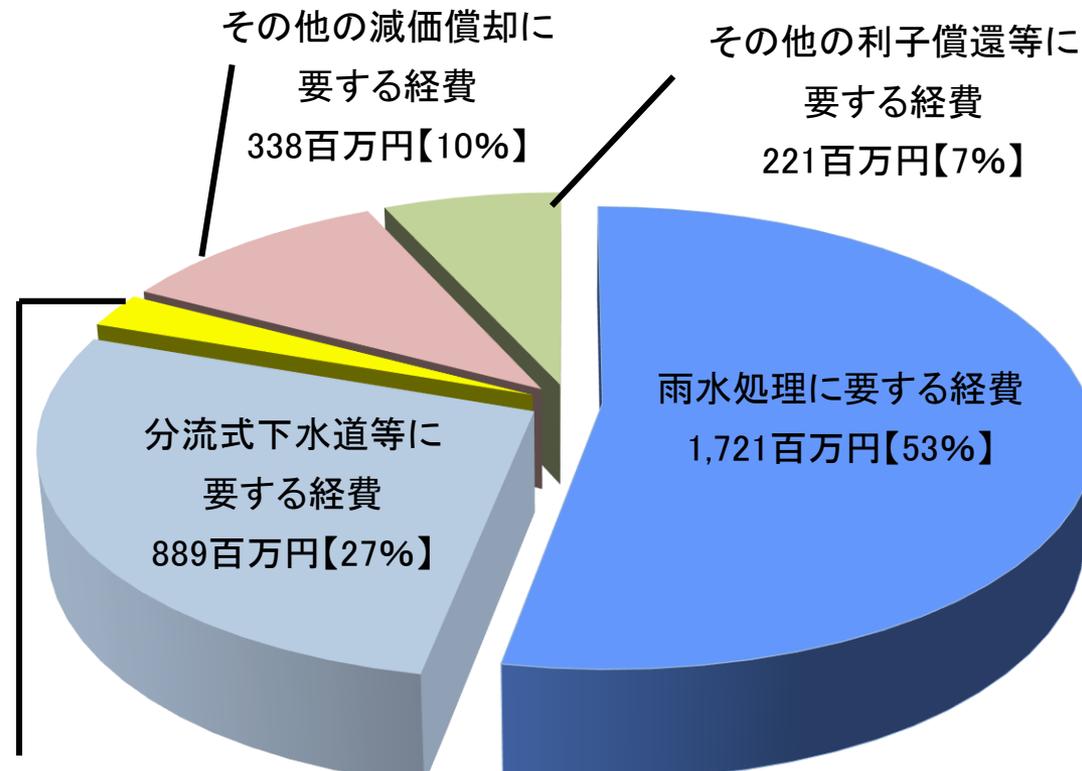
浸水対策の推進		9.5億円
・西部バイパス幹線工事	全体事業費(H28~31) 32.2億円 ③①シールド工 L=2,052m 到達立坑築造工事	5.3億円 3.0億円
・福岡ポンプ場ポンプ増設工事	全体事業費(H30・31) 4.3億円 ポンプ増設 2基(10t/s) ⇒ 3基(15t/s) ③①除じん機増設工事(電気・機械)	0.9億円
ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の計画的な実施		20.4億円
・長寿命化 ・ストックマネジメント計画 ・総合地震対策	管更生・布設替工事(補L=1,385m単L=75m) 管渠実施設計業務等委託(③②~管更生等工事) 施設改築・更新工事及び点検調査業務委託 総合地震対策工事 管更生 L=1,400m 3.8億円 人孔浮上対策 N=110基 1.0億円 総合地震対策耐震診断業務等委託 管渠 L=59.7km 0.7億円 処理場(1施設)ポンプ場(8施設) 1.3億円	2.6億円 1.3億円 9.6億円 4.8億円 2.0億円
経営健全化の推進・スマイルプランの推進・積極的な収入確保		
・経営健全化の推進	包括的民間委託(処理場+ 新ポンプ場) 全体事業費 49億円(H31~35)	9.8億円
・スマイルプランの推進	職員給与費の減 正規91名⇒90名 非常勤20名⇒17名	▲0.2億円
・積極的な収入確保	MICS収入 バイオマス発電収入	1.2億円 0.9億円

## 5. 一般会計繰入金 ①

単位:百万円

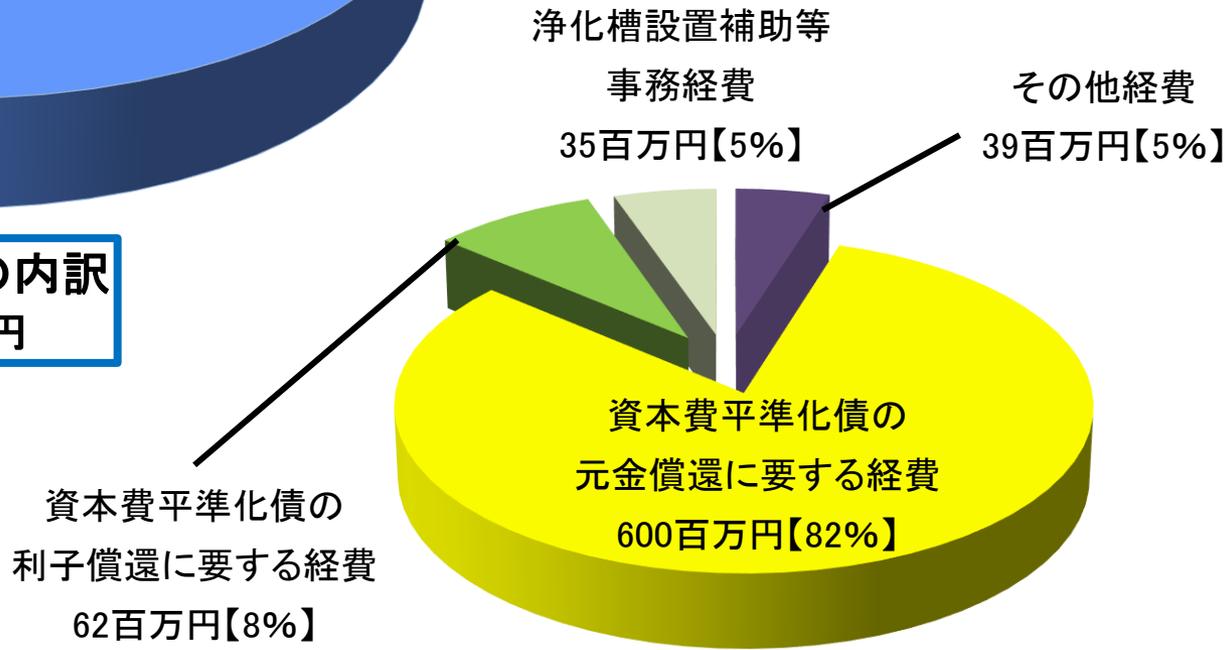
	H31	H30 当初	増減	備考
下水道事業負担金 (3条予算)	3,305	3,505	▲200	減価償却・利子(雨水処理に要する経費、 分流式下水道等)など
下水道事業補助金 (3条予算)	1	1	0	水洗便所貸付金事務費 など
下水道事業出資金 (4条予算)	678	608	70	資本費平準化債(元金) 特別措置分(元金※交付税措置あり)
<b>合計</b>	<b>3,984</b>	<b>4,114</b>	<b>▲130</b>	
繰出基準内	3,248	3,360	▲112	総務省通知
繰出基準外 (赤字補てん)	736 (-)	754 (-)	▲18	高松市ルール(出資金、浄化槽経費等) 3条予算収支均衡
3条予算	3,306	3,506	▲200	
4条予算	678	608	70	

# 5. 一般会計繰入金 ②

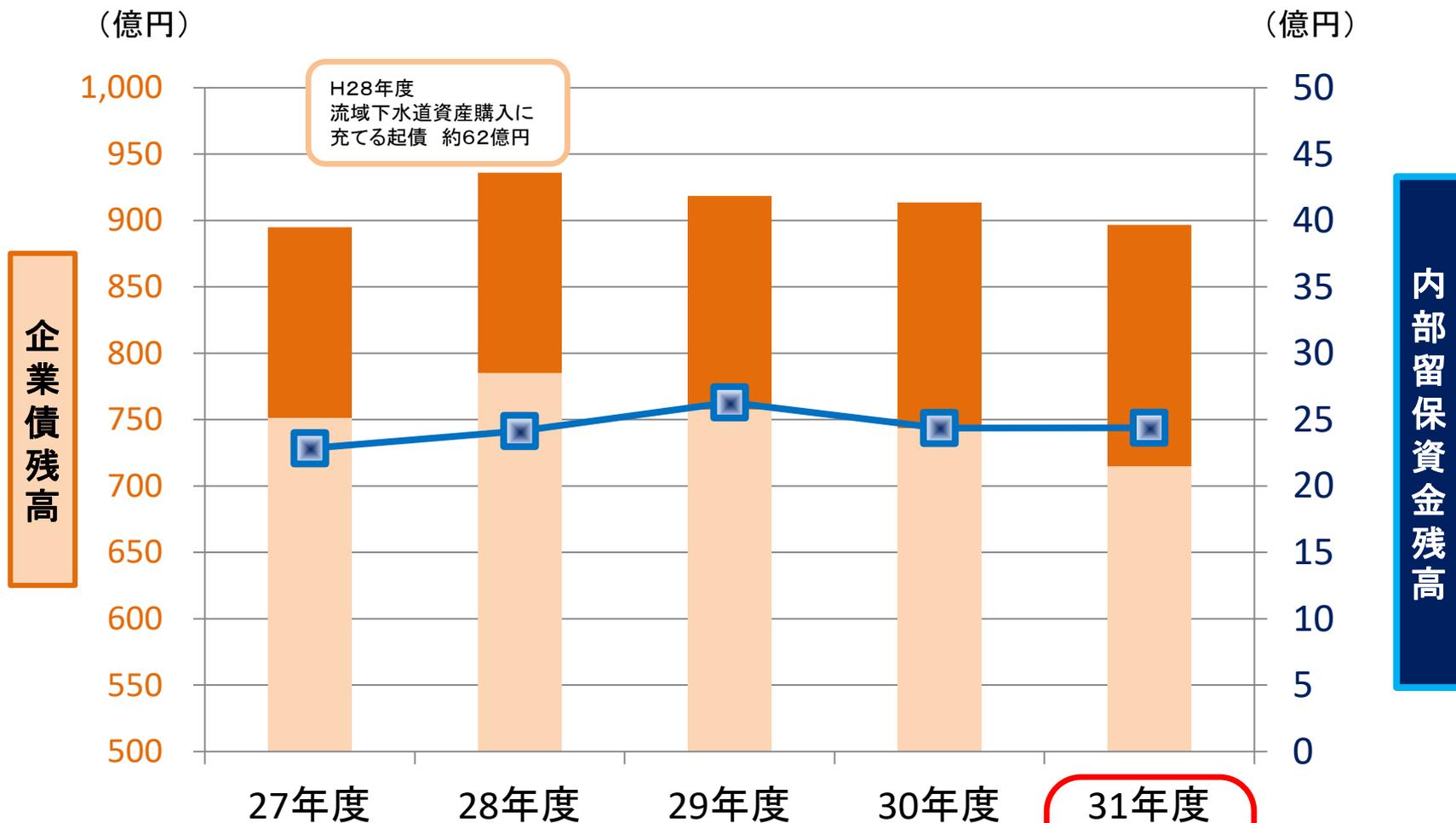


**基準内繰入の内訳**  
3,248百万円

**基準外繰入の内訳**  
736百万円



# 6. 企業債残高及び内部留保資金残高



	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
企業債残高	894.8	936.0	918.4	913.5	896.7
建設改良債等	751.3	785.1	757.6	743.5	714.9
資本費平準化債	143.5	150.8	160.8	170.0	181.9
内部留保資金残高	22.8	24.1	26.3	24.4	24.4